

ナノ材料リスク評価書-カーボンナノチューブ(CNT)-

最終報告版：2011.8.17

更新履歴

【2012.2.17 版】

- p.VI-11 4行目 「繊維による発がん」 → 「**繊維により腫瘍が生ずる**」
- p.VI-11 8行目 「その数はアスベストに対する基準値を目標に管理する」 → 「**通常より大きな安全率を見込んだ管理をする**」
- p.VIII-7 3行目 「その繊維数がアスベストの規制値を満足するような管理をする」 → 「**通常より大きな安全率を見込んだ管理をする**」

【2011.9.20 版】

- p.II-10 表 II.2 「保土ヶ谷化学工業」 → 「**保土谷化学工業**」
- p.IV-5 12行目 「Paulhun」 → 「Paul**uhn**」
- p.IV-5 15行目 「0.4 mg.m³」 → 「0.4 mg/**m**³」
- p.IV-15 8行目 「雌性 S ラット」 → 「雌性 **SD** ラット」
- p.IV-70 表 IV.20 試験番号#NN-17の被験物質
「SWCNT (D)」 → 「SWCNT (**N**)」
- p.IV-96 3行目 「#NN-18」 → 「#NN-**17**」
- p.V-5 表 V.1 表中下から 2行目 SWCNT(A)の一般環境での NOAEL_H
「0.006」 → 「**0.002**」
- p.V-5 表 V.1 表中下から 1行目 MWCNT(N)の一般環境での NOAEL_H
「0.002」 → 「**0.006**」
- p.付録 D-16 表 D.7 2ブロック目表題中の単位
「Dispersed SWCNT in aq. 1 mg/L Triton X-100」
→ 「Dispersed SWCNT in aq. 1 mg/**mL** Triton X-100」
- p.付録 D-18 表 D.8 2ブロック目表題中の単位
「Dispersed SWCNT in aq. 1 mg/L Triton X-100」
→ 「Dispersed SWCNT in aq. 1 mg/**mL** Triton X-100」